

令和4年度第2回シンポジウム

廃棄物処理システムにおける脱炭素・省CO2対策普及促進に係るシンポジウム

2023年2月16日
廃棄物資源循環学会
環境省

[趣旨] 2050年までのカーボンニュートラル達成に向けて、廃棄物分野では、一般廃棄物の焼却や埋立処分に伴う直接的な温室効果ガス排出の抑制のほか、収集運搬過程における燃料使用や、中間処理施設等の稼働に伴う電力使用等によるエネルギー起源CO₂等の排出抑制等を総合的に講じていく対策が求められている。また、脱炭素化は、同時に第5次環境基本計画（平成30年4月閣議決定）で提唱された地域循環共生圏の創造と合わせて進展していくことが必要である。

こうした中、環境省では、廃棄物処理システム全体の脱炭素化・省CO₂対策を普及促進する方策の各種検討調査や、地域の特性に応じて最適な循環資源の活用方策の検討を行い、今後の廃棄物資源循環分野からの「気候変動×レジリエンス」や地域循環共生圏の構築に向けたガイダンスの策定に向けた情報の収集整理を進めているところである。また、令和3年度からは、地域循環共生圏を踏まえた廃棄物の処理における技術面や廃棄物処理工程の効率化・省力化に資する実証事業を実施してきている。

第2回シンポジウムでは、以上の取り組みの成果として、地球温暖化対策推進法に基づく地方公共団体実行計画の廃棄物分野ガイダンス素案及び脱炭素化・先導的廃棄物処理システム実証事業の成果等について御報告頂き、廃棄物分野における脱炭素化及び地域循環共生圏形成に向けたシステムや技術等について、多角的視点から討議を行うものとする。

[主催] 環境省、廃棄物資源循環学会

[日時] 2023年3月6日（月）13:30～17:00（会場受付は13:00より開始）

[会場] 航空会館（7階大ホール）（東京都港区新橋1-18-1）03-3501-1272

[交通] 地下鉄都営三田線内幸町駅A2出口より徒歩1分又はJR新橋駅より徒歩8分

[定員] 150名（会場）300名（オンライン）事前申込み制、自治体関係者を優先。ハイブリッド型式（WEB：ZOOMを使用）

[参加費] 無料

[参加申込み] 学会ホームページ（https://jsmcwm.or.jp/?page_id=28844）からお申込みください

[プログラム]

- | | | |
|-------------|---|---|
| 13:30～13:35 | 開会の挨拶 | 学会会長 大迫政浩（国立環境研究所）
司会・進行 学会副会長 秩父薫雅（㈱神鋼環境ソリューション） |
| 13:35～13:55 | 脱炭素化に向けた廃棄物施策について（20分） | 工藤喜史（環境省廃棄物適正処理推進課 総括補佐） |
| 13:55～14:15 | 地域バイオマスの利活用による清掃工場の持続可能な運用システムの実証について（20分） | 田中和之（佐賀市環境部施設機能向上室室長） |
| 14:15～14:35 | バイオガスのハイブリッド精製と真庭市地域の生ごみ収集車両への利用実証について（20分） | 山口浩（真庭広域廃棄物リサイクル事業協同組合 事務局次長） |
| 14:35～15:15 | 地方公共団体実行計画の廃棄物分野ガイダンス案等について（40分） | 井伊 亮太（パシフィックコンサルタンツ(株) 室長） |
| 15:15～15:20 | 会場整備（5分） | |
| 15:20～16:50 | パネルディスカッション：廃棄物分野における脱炭素化に向けた展望と課題（90分） | コーディネーター 酒井伸一（京都高度技術研究所 副所長）
パネラー 工藤喜史（環境省廃棄物適正処理推進課 総括補佐）
田中和之（佐賀市環境部）
山口浩（真庭広域廃棄物リサイクル事業協同組合事務局次長）
大隅省二郎（Daigas エナジー(株)シニアエキスパート）
井伊亮太（パシフィックコンサルタンツ(株) 室長）
大塚 直（早稲田大学 教授）
倉持秀敏（国立環境研究所 資源循環領域／副領域長） |
| 16:50～17:00 | 閉会の挨拶 | 酒井伸一（京都高度技術研究所 副所長） |